

産業廃棄物処分業許可申請書（記入例）

平成〇〇年 〇月 〇日

新潟市長 〇〇 〇〇 殿

申請者

住所と氏名は会社の登記簿と一致させてください。  
個人の場合は住民票と一致させてください。

〒 〇〇〇-〇〇〇〇  
住 所 新潟県新潟市中央区〇〇  
氏 名 株式会社 環境〇〇  
代表取締役 新潟 太郎  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 〇〇〇-・・・-〇〇〇〇

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の規定により、産業廃棄物処分業の許可を受けたいので、関係書類及び図面を添えて申請します。

事業の範囲(処分の方法ごとに区分して取り扱う産業廃棄物の種類(当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、その旨を含む。)を記載すること。)	<破砕処理> ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず(以上、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)がれき類	
事務所及び事業場の所在地	事務所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 新潟市中央区〇〇〇〇 電話番号 025-〇〇〇〇-〇〇〇〇	処理施設に付与されている許可番号を記載してください。処理業許可番号ではありません。
	事業場 〒〇〇〇-〇〇〇〇 新潟市江南区〇〇〇〇 電話番号 025-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
事業の用に供するすべての施設(施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号(産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限る。)を記載すること。)	①破砕施設 設置場所：新潟市江南区〇〇 設置年月日：平成〇〇年〇月〇日 処理能力：100t/日(8時間) 許可年月日：平成〇〇年〇月〇日 施設許可番号：〇〇〇〇〇〇〇	②破砕施設 設置場所：新潟市江南区〇〇 設置年月日：平成〇〇年〇月〇日 処理能力：4t/日(8時間)
	欄に収まらない場合は、別紙にまとめてください。	
保管を行う場合には、保管を行うすべての場所の所在地、面積、保管する産業廃棄物の種類(当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、その旨を含む。)、処分等のための保管上限及び積み上げることができる高さ	所在地：新潟市江南区〇〇 保管面積：20m <sup>2</sup> 保管する産廃の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず(以上、水銀使用製品産業廃棄物を含む。) 保管上限：30m <sup>3</sup> 最大保管高さ：1.5m	
事業の用に供する施設の処理方式、構造及び設備の概要	①破砕施設：二軸破砕方式 ②破砕施設：ハンマー破砕方式	
※ 事 務 処 理 欄		

(日本工業規格 A 列 4 番)

先行許可証 ( 有 ・ 無 )、 ( 新規 ・ 更新 )

## (第2面)

既に処理業の許可（他の都道府県のものを含む。）を有している場合はその許可番号（申請中の場合には、申請年月日）	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合には、申請年月日）	
	秋田県	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
申請者（個人である場合）			
(ふりがな) 氏 名	生 年 月 日	本 籍 所	
		住 所	
(法人である場合)			
(ふりがな) 名 称	住 所		
株式会社 環境〇〇	新潟県新潟市中央区〇〇		
法定代理人（申請者が法第14条第5項第2号ハに規定する未成年者である場合）			
(個人である場合)			
(ふりがな) 氏 名	生 年 月 日	本 籍 所	
		住 所	
(法人である場合)			
(ふりがな) 名 称	住 所		
役員(法定代理人が法人である場合)			
(ふりがな) 氏 名	生 年 月 日	本 籍 所	
	役職名・呼称	住 所	
役員（申請者が法人である場合）			
(ふりがな) 氏 名	生 年 月 日	本 籍 所	
	役職名・呼称	住 所	
にいがた たろう 新潟 太郎	昭和〇年〇月〇日	東京都世田谷区世田谷〇丁目〇番地	
	代表取締役	新潟県新潟市中央区出来島〇丁目〇番〇号	
にいがた はなこ 新潟 花子	昭和〇年〇月〇日	大阪府大阪市中央区大手町〇丁目〇番地	
	取締役	新潟県新潟市中央区出来島〇丁目〇番〇号	

本籍・住所は住民票に表示されているものと必ず一致させてください。特に字体には注意してください。  
 (例) 渡邊と渡辺, 齋藤と斉藤など  
 また、書ききれない場合は別紙に記入してください。

## (第3面)

発行済株式総数の100分の5以上の株式を有する株主又は出資の額の100分の5以上の額に相当する出資をしている者（申請者が法人である場合において、当該株主又は出資をしている者があるとき）

発行済株式の 総数	40,000 株		出資の額	4,000 万円
(ふりがな) 氏名又は名称	生年月日	保有する株式の数 又は出資の金額	本 籍	
		割 合	住 所	
にいがた たろう 新潟 太郎	昭和43年○ 月○日	20,000 株	東京都世田谷区世田谷○丁目○番地	
		50%	新潟県新潟市中央区出来島○丁目○番○号	
にいがた じろう 新潟 次郎	昭和51年○ 月○日	16,000 株	東京都足立区中央本町○丁目○番地	
		40%	新潟県新潟市中央区出来島○丁目○番○号	
にいがた さぶろう 新潟 三郎	昭和51年○ 月○日	2,000 株	東京都足立区中央本町○丁目○番地	
		5 %	新潟県新潟市中央区出来島○丁目○番○号	
株式会社 ○○	代表取締役 ○○ ○○	2,000 株		
		5 %	新潟県新潟市中央区○○	

株主が法人の場合は、代表者の氏名を、また、住所の欄に、本社住所を記入してください。  
書ききれない場合は別紙に記入してください

令第6条の10に規定する使用人（申請者）

(ふりがな) 氏 名	生 年 月 日	本 籍
	役職名・呼称	住 所
にいがた しろう 新潟 四郎	昭和48年○月○日	東京都足立区中央本町○丁目○番地
	支店長	新潟県新潟市中央区出来島○丁目○番○号

備考

1 ※欄は記入しないこと。

2 「法定代理人」の欄から「令第6条の10に規定する使用人」までの各欄については、該当するすべての者を記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付すること。

3 「役員」の欄に記載する役員とは、業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者と同様以上の支配力を有するものと認められる者を含む。

4 都道府県知事が定める部数を提出すること。

※手数料欄

## 使用人証明書

平成〇〇年 〇月 〇日

新潟市長 〇〇 〇〇 様

押印は忘れずに！！

会社印ではなく、代表者印でお願いします。

申請者、届出者

住 所 新潟県新潟市中央区〇〇

氏 名 株式会社 環境〇〇

代表取締役 新潟 太郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

印

下記の者は、使用人であって、次に掲げるものの代表者である（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の10に規定する使用人である）ことを証明します。

（次のいずれかに〇印をつけること。）

① 本店又は支店（商人以外の者にあっては、主たる事務所又は従たる事務所）

2 1に掲げるもののほか、継続的に業務を行うことができる施設を有する場所で、廃棄物の収集若しくは運搬又は処分若しくは再生の業に係る契約を締結する権限を有する者を置くもの

記

氏 名 環境 次郎

事業場の名称 〇〇支店

職 名 支店長

使用人の「住民票」と「登記されていない証明書」を添付することも忘れずに、お願いします。

## 事業場（駐車場・保管場所等を含む。）の写真

＊ 施設の全体が確認できること。

施設の種類	がれき類保管場所
所 在 地	新潟県新潟市江南区〇〇

保管場所は全体が分かるものにしてください。また、産業廃棄物保管看板の設置状況が分かる写真も添付してください。

## 土 地 ・ 建 物 使 用 承 諾 書

住 所 新潟県新潟市中央区〇〇  
 申請者、届出者  
 氏 名 株式会社 環境〇〇  
 代表取締役 新潟 太郎  
 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

上記の者が行う産業廃棄物処理業又は特別管理産業廃棄物処理業に、下記の土地・建物を使用することを承諾します。

### 記

土 地 ・ 建 物 の 所 在	地 目	面積 (m <sup>2</sup> )	用 途	使用承諾期間
新潟市江南区〇〇	宅地	5 0 m <sup>2</sup>	破 碎 施 設 設 置事業場	平成〇〇年 10 月 1 日～平成〇〇 年 9 月 30 日

平成〇〇年    〇月    〇日

押印は忘れずに！！

会社印ではなく、代表者印をお願いします。

承諾者\*  
 住 所 新潟県新潟市〇〇  
 氏 名 〇〇〇〇 株式会社  
 代表取締役 〇〇 〇〇 印  
 （法人にあっては、名称、代表者の氏名及び代表者印）

\* 所有者（登記名義人）と承諾者が異なる場合、その理由

## 車 両 等 施 設 使 用 承 諾 書

住 所 新潟県新潟市中央区〇〇  
 申請者、届出者  
 氏 名 株式会社 環境〇〇  
 代表取締役 新潟 太郎  
 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

上記の者が行う産業廃棄物処理業又は特別管理産業廃棄物処理業に、下記の施設を使用することを承諾します。

### 記

種 類*	自動車登録（車両）番号・船舶番号 若しくは他と識別できる事項	使用承諾期間
〇〇〇〇	—	平成〇〇年 9 月 1 日～ 平成〇〇年 8 月 31 日 （自動更新）

\* 種類欄は、収集運搬車の場合は自動車検査証に記載の車体の形状、運搬船の場合は船舶検査証書に記載の船名、その他の施設の場合は施設の名称を記載すること。

押印は忘れずに！！

会社印ではなく、代表者印をお願いします。

平成〇〇年 〇月 〇日

住 所 新潟県新潟市〇〇  
 承諾者\*  
 氏 名 〇〇〇〇 株式会社  
 代表取締役 〇〇 〇〇 印  
 （法人にあっては、名称、代表者の氏名及び代表者印）

\* 使用者又は所有者と承諾者が異なる場合、その理由

## 欠格要件に該当しない者である旨の誓約書

新潟市長    ○○   ○○   様

私・当法人は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 5 項第 2 号イからへまでに  
該当しない者であることを誓約します。

平成○○年   ○月   ○日

押印は忘れずに！！

会社印ではなく、代表者印で  
お願いします。

住   所   新潟県新潟市中央区○○

申請者

氏   名   株式会社   環境○○

代表取締役   新潟   太郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

印



## 欠格要件に係る条項

### 1 法第 14 条第 5 項第 2 号イ

法第 7 条第 5 項第 4 号イからトまでのいずれかに該当する者

#### (1) 法第 7 条第 5 項第 4 号イ

成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ないもの

#### (2) 法第 7 条第 5 項第 4 号ロ

禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から 5 年を経過しない者

#### (3) 法第 7 条第 5 項第 4 号ハ

法、浄化槽法（昭和 58 年法律第 43 号）その他生活環境の保全を目的とする法令で政令で定めるもの若しくはこれらの法令に基づく処分若しくは暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号。第 32 条の 2 第 7 項を除く。）の規定に違反し、又は刑法（明治 40 年法律第 45 号）第 204 条、第 206 条、第 208 条、第 208 条の 3、第 222 条若しくは第 247 条の罪若しくは暴力行為等処罰ニ関スル法律（大正 15 年法律第 60 号）の罪を犯し、罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から 5 年を経過しない者

#### (4) 法第 7 条第 5 項第 4 号ニ

法第 7 条の 4 第 1 項（第 4 号に係る部分を除く。）若しくは第 2 項若しくは法第 14 条の 3 の 2 第 1 項（第 4 号に係る部分を除く。）若しくは第 2 項（これらの規定を法第 14 条の 6 において読み替えて準用する場合を含む。）又は浄化槽法第 41 条第 2 項の規定により許可を取り消され、その取消しの日から 5 年を経過しない者（当該許可を取り消された者が法人である場合（法第 7 条の 4 第 1 項第 3 号又は法第 14 条の 3 の 2 第 1 項第 3 号（法第 14 条の 6 において準用する場合を含む。）に該当することにより許可が取り消された場合を除く。）においては、当該取消しの処分に係る行政手続法（平成 5 年法律第 88 号）第 15 条の規定による通知があった日前 60 日以内に当該法人の役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同様以上の支配力を有するものと認められる者を含む。以下この号、法第 8 条の 5 第 6 項及び法第 14 条第 5 項第 2 号ニにおいて同じ。）であった者で当該取消しの日から 5 年を経過しないものを含む。）

#### (5) 法第 7 条第 5 項第 4 号ホ

法第 7 条の 4 若しくは法第 14 条の 3 の 2（法第 14 条の 6 において読み替えて準用する場合を含む。）又は浄化槽法第 41 条第 2 項の規定による許可の取消しの処分に係る行政手続法第 15 条の規定による通知があった日から当該処分する日又は処分をしないことを決定する日までの間に法第 7 条の 2 第 3 項（法第 14 条の 2 第 3 項及び法第 14 条の 5 第 3 項において読み替えて準用する場合を含む。以下この号において同じ。）の規定による一般廃棄物若しくは産業廃棄物の収集若しくは運搬若しくは処分（再生することを含む。）の事業のいずれかの事業の全部の廃止の届出又は浄化槽法第 38 条第 5 号に該当する旨の同条の規定による届出をした者（当該事業の廃止について相当の理由がある者を除く。）で、当該届出の日から 5 年を経過しないもの

#### (6) 法第 7 条第 5 項第 4 号ヘ

法第 7 条第 5 項第 4 号ホに規定する期間内に法第 7 条の 2 第 3 項の規定による一般廃棄物若しくは産業廃棄物の収集若しくは運搬若しくは処分の事業のいずれかの事業の全部の廃止の届出又は浄化槽法第 38 条第 5 号に該当する旨の同条の規定による届出があった場合において、法第 7 条第 5 項第 4 号ホの通知の日前 60 日以内に当該届出に係る法人（当該事業の廃止について相当の理由がある法人を除く。）の役員若しくは政令で定める使用人であった者又は当該届出に係る個人（当該事業の廃止について相当の理由がある者を除く。）の政令で定める使用人であった者で、当該届出の日から 5 年を経過しないもの

#### (7) 法第 7 条第 5 項第 4 号ト

その業務に関し不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足る相当の理由がある者

### 2 法第 14 条第 5 項第 2 号ロ

暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から 5 年を経過しない者（以下「暴力団員等」という。）

### 3 法第 14 条第 5 項第 2 号ハ

営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者でその法定代理人が法第 14 条第 5 項第 2 号イ又はロのいずれかに該当するもの

### 4 法第 14 条第 5 項第 2 号ニ

法人でその役員又は政令で定める使用人のうちに法第 14 条第 5 項第 2 号イ又はロのいずれかに該当する者のあるもの

### 5 法第 14 条第 5 項第 2 号ホ

個人で政令で定める使用人のうちに法第 14 条第 5 項第 2 号イ又はロのいずれかに該当する者のあるもの

### 6 法第 14 条第 5 項第 2 号ヘ

暴力団員等がその事業活動を支配する者

## 事業の開始に要する資金の総額及びその資金の調達方法を記載した書類

内 訳		金 額（千円）
事業の開始に要する資金の総額	資 本 金	20,000
	施設整備費用	
	土 地	購入費 5,000
	事 務 所	造成費 5,000 建設費 5,000
	収集運搬車・運搬船(収集運搬) 処理施設（処分）	購入費 1,000
	保管場所	造成費 2,000 建設費 2,000
	最終処分場維持管理費用（処分）	—
	環境汚染賠償責任保険（処分）	—
合 計	40,000	
調 達 方 法	自 己 資 金	20,000
	借 入 金	20,000
	借 入 先 名	〇〇銀行
	借 入 残 高	.....
	年 間 返 済 額	.....
	返 済 期 間	.....
	利 率	.....
	増 資	—
合 計	40,000	
* 内訳欄の事項については、事業計画に応じ適宜変更すること。		

—— 新たに必要としない理由 ——

## 資 産 に 関 す る 調 書 (個人用)

〇〇年 〇月 〇日現在

資産の種類	内 容	数 量	価格、金額 (千円)
現 金 預 金	定期預金		3, 0 0 0
受 取 手 形	株式	1, 0 0 0 株	1 0 0
売 掛 金			
有 価 証 券			
未 収 入 金			
土 地	自宅宅地 駐車場土地	1 1 0 m <sup>2</sup>	2 0, 0 0 0
建 物	自宅	1 棟	1 2, 0 0 0
機 械 器 具			
車両・船舶	ダンプ	1 台	3, 0 0 0
そ の 他			
資 産 計			3 8, 1 0 0
負債の種類別	内 容	数 量	価格、金額 (千円)
長期借入金	〇〇		1 9, 0 0 0
短期借入金	〇〇〇		5 0 0
未 払 金			
買 掛 金			
支 払 手 形			
預 り 金			
前 受 金			
そ の 他			
負 債 計			1 9, 5 0 0

**事業計画の概要を記載した書類**

## 1. 事業の全体計画（変更許可申請時には変更部分を明確にして記載すること。）

## 事業の概要

- ・主に、〇〇市内の建設現場から排出される〇〇の産業廃棄物を収集し、自社処分場にて破碎処理を行う。処理したものは、〇〇〇として、〇〇市内の建設事業者等へ売却する。
- ・

2. 取り扱う産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む。）ごとの処分計画\*<sup>1</sup>

	産業廃棄物の種類* <sup>2</sup>	処分方法	処分量 (t/月又は m <sup>3</sup> /月)	性状	予定排出事業場の 名称及び所在地
1	がれき類	破碎	○ t / 月	固形	(株)〇〇〇 新潟市〇〇
2	ガラスくず・コン クリートくず及 び陶磁器くず(水 銀使用製品産業 廃棄物を含む。)	破碎	○ t / 月	固形	〇〇〇(株) 新潟市〇〇〇
3					
4					
5					
6					
7					

\* 1 変更許可申請の場合は、追加する事業の範囲についてのみ記載すること。

\* 2 当該産業廃棄物が石綿含有産業廃棄物である場合は、その旨を記載すること。

## 3. 処分業の用に供する施設の概要

(1) 中間処理施設<sup>\*1</sup>

施設の種別 <sup>*2</sup>	破砕処理施設
設置場所 <sup>*2</sup>	新潟県新潟市中央区〇〇
設置年月日 <sup>*3</sup>	平成〇〇年 〇月 〇日
処理する産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む。）の種類及び処理能力 <sup>*2</sup>	がれき類 〇 t / 日（8 時間）
処理方式、構造及び設備の概要	二軸破砕方式
環境保全措置の概要	粉じん飛散防止措置として、破砕施設に付帯している散水装置を使用する。
<p>* 1 施設ごとに記載すること。</p> <p>* 2 産業廃棄物処理施設（設置・変更）許可証又は事前協議完了通知に記載の内容を記載すること。なお、許可証と完了通知で項目が重複しているものについては、許可証の記載内容を優先すること。</p> <p>* 3 産業廃棄物処理施設使用前検査申請書又は工事完了報告書に記載の竣<sup>しゅん</sup>工の年月日又は工事完了年月日を記載すること。</p>	

## （2）保管場所（処分等のための保管）\*1

中間処理施設の種類及び 処理する産業廃棄物の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・破砕処理施設（廃プラスチック類）</li> <li>・破砕処理施設（木くず，廃プラスチック類，金属くず）</li> </ul>
所在地*2	新潟県新潟市中央区〇〇
環境保全 措置の概要	廃プラスチック類は，建屋内で保管する。 木くずの保管時は散水を行う。

## 取り扱う産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む。）ごとの保管計画

産業廃棄物の種類*3	処分前 処分後 の別	面積 (㎡)	屋外 屋内 の別	保管容器 (種類・個数)	保管数量 (保管上限) *4 (t 又は m <sup>3</sup> )	最大積 上げ高 さ*5 (m)	処理能力か ら算出した 保管上限 *6 (t 又は m <sup>3</sup> )
廃プラスチック類	処分前	20	屋 中		100 t	—	140 t
<div>事業場や建屋の面積等を加味し、実際に保管を行う数値を記載してください。その数値は「処理能力から算出した保管上限」を超えないようにしてください。</div> <div>廃プラスチック類破砕処理能力：10 t／日（8h）の場合，1日当たりの処理能力の14日分の数量</div>							
木くず	処分前	100	屋 外	バラ	300 t	3	2800 t
<div>木くずの再生を行う破砕施設（処理能力100 t／日（8h））の場合は，1日当たりの処理能力の28日分の数量</div>							

\*1 保管場所のある事業場ごとに記載すること。

\*2 保管場所になる土地の地番をすべて記載すること。

\*3 同じ種類の産業廃棄物を事業場内で2か所に分けて保管する場合は，2行に分けて記載すること。この場合、処分前の保管にあっては、処理能力から算出した保管上限欄は，1行にすること。

\*4 保管上限は、処理能力から算出した保管上限\*6以内となっていること。ただし、保管する産業廃棄物が当該処分後のものである場合、本欄は記載不要。

\*5 屋外で容器を用いずに保管する場合は、最大積上げ高さを記載すること。

\*6 第2面記載の処理能力の14日分として算出した量を記載すること（例外あり）。ただし、保管する産業廃棄物が当該処分後のものである場合、本欄は記載不要。

(3) 最終処分場* <sup>1</sup>	
最終処分場の 種類* <sup>2</sup>	安定型最終処分場
設置場所* <sup>2</sup>	新潟県新潟市〇〇〇
設置年月日* <sup>3</sup>	平成〇〇年 〇月 〇日
最終処分場の 面積及び 埋立容量* <sup>2</sup>	埋立面積：10,000 m <sup>2</sup> 埋立容量：30,000 m <sup>3</sup> 残容量：25,000 m <sup>3</sup>
埋め立てる産業廃 棄物（特別管理産 業廃棄物を含む。） の種類* <sup>2</sup> （当該産 業廃棄物に石綿含 有産業廃棄物が含 まれる場合は、そ の旨を含む。）	廃プラスチック類
構造及び設備の 概要	構造 安定型最終処分場 設備の概要 バックホー 3 台 埋立、締め固めの際に使用 ホイールローダー 1 台 展開検査のために使用
放流水の水質等	年に〇回測定し、異常が無いことを確認している
その他環境保全 措置の概要	粉じんの飛散防止のため散水、覆土、重機による締め固めを行う。
<p>* 1 施設ごとに記載すること。</p> <p>* 2 産業廃棄物処理施設（設置・変更）許可証に記載の内容を記載すること。</p> <p>* 3 使用前検査結果通知に記載の竣<sup>しゅん</sup>工の年月日を記載すること。</p>	

（４）その他処分業の用に供する施設\*及び特別管理産業廃棄物処分業にあつては必要な  
 附帯設備（全容がわかる写真を添付すること。）

施設・附帯設備 の種類等	用 途	能 力	所有者	備 考
タイヤショベル	廃棄物投入作業時に使用	○ t	自社所有	

\* 産業廃棄物の中間処理施設への投入に用いるタイヤショベル等

４．処分業務の具体的な計画（処分業務を行う時間、休業日及び従業員数を含む。）

業務時間	８：３０～１７：３０（うち、休憩時間６０分）
休 業 日	日曜，祝祭日

従業員等数\*内訳（原則として業に係る部分のみ）

平成〇〇年 〇月 〇日現在

申請者又は申請者の登記上の役員	相談役、顧問等申請者の登記外の役員	政令第6条の10に規定する使用人	事務員	運転手 船員	作業員	その他	合 計
４人	人	人	４人	４人	４人	人	１６人

\* 兼務の場合は、その旨を記載すること。

５．その他



処分後の（特別管理）産業廃棄物等の処理方法を記載した書類					
	処分後の産業廃棄物等の種類* <sup>1</sup>	発生量 (t/月又は m <sup>3</sup> /月)	処理 方法* <sup>2</sup>	搬出先の名称 及び所在地	搬出先までの 運搬者* <sup>3</sup>
1	がれき類	100 t / 月	売却	(株)〇〇 新潟市〇〇	(株)〇〇
2	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           処分後の物を再生製品（有価物）として売却する場合は、            売買契約書の写し等を添付してください。         </div>				
3					
4					
5					
6					
7					

\* 1 処分後の産業廃棄物等の種類ごとに記載すること。  
 \* 2 廃棄物処理である場合は、「中間処理（処分方法（焼却、破碎等））」又は「最終処分」と記載すること。廃棄物処理でない場合は、「売却」等と記載すること。  
 \* 3 自ら運搬する場合は「自己」と記載すること。

## 経 営 改 善 計 画 書 （ 法 人 用 ）

- 1 利益が計上できていないことかつ自己資本率が1割以下であること、又は債務超過であることの原因

損失が発生した会計年度、理由及び金額等について具体的に記入してください。  
特別損失（固定資産売却損等）による場合は、当該特別損失が発生した会計年度、理由及び金額等を記載してください。また、今後の発生の見込みを記入してください。

- 2 改善策

直前期の実績を踏まえて、講じる改善計画の内容を具体的に記入してください。  
例えば、経費削減であれば、削減する経費の費目、削減金額、削減の方法等を具体的に記入してください。「経営努力により諸費用を削減する」というような抽象的な説明は避けてください。

- 3 今後の見込み

実績 ← | → 見込

以下のいずれかの場合は、こちらの書類をすべて記入し添付してください。また、②の場合、中小企業診断士による診断書等を求める場合もあります。

- ① 直前の3年の経常損益の平均値が欠損となっている場合（直前期が黒字に転換している場合はこの限りではない。）で、かつ自己資本比率が1割以下の場合  
② 直前期が債務超過である場合

※元資及び元資比率						
営業利益						
営業外収益						
営業外費用						
経常利益						
特別利益						
特別損失						
税引前当期利益						
当期利益						
資産の部						
負債の部						
純資産の部						
自己資本比率(%) (純資産÷資産×100)						

\* 原因、改善策とも具体的に明記すること。

\* 見込み額については、改善策に記載した改善策と整合性を持たせ、合理的な数字を記載すること。

## 経 営 改 善 計 画 書 （ 個 人 用 ）

資産に関する調書の負債計が資産計を上回っている場合、添付すること。

### 1 資産に関する調書の負債計が資産計を上回っていることの原因

損失が発生した会計年度、理由及び金額等について具体的に記入してください。

### 2 改善策

直前期の実績を踏まえて、講じる改善計画の内容を具体的に記入してください。  
例えば、経費削減であれば、削減する経費の費目、削減金額、削減の方法等を具体的に記入してください。「経営努力により諸費用を削減する」というような抽象的な説明は避けてください。

### 3 今後の見込み（実績は、収支内訳書（白色申告の添付書類）又は所得税青色申告決算書から転記すること。）

	実績←	→見込				
	前年	本年	来年	〇〇 年	〇〇 年	〇〇 年
売上高(収入)	100,000	・ ・ ・	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
売 上 原 価	50,000	・ ・ ・	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
差 引 金 額	50,000	・ ・ ・	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
経 費	10,000	・ ・ ・	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
差 引 金 額	40,000	・ ・ ・	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

- \* 収支内訳書又は所得税青色申告決算書を直前 3 年分添付すること。
- \* 原因、改善策とも具体的に明記すること。
- \* 見込み額については、改善策に記載した改善策と整合性を持たせ、合理的な数字を記載すること。